

はじめに人。



人という字に見えますね。「二股ソケット」の頃から、松下電器は、ヒューマン エレクトロニクス。

大正7年製造の「二股ソケット」。電灯がついて、コンセントにもなるあって、当時、大きな人気を集めました。この商品づくりに見られるのも、人の暮らしを見つめ、人の気持ちで考えるという精神。現在の松下電器のテーマ「ヒューマン エレクトロニクス」そのものなんです。70年前から、人が原点。そして、これからもこの思いはますます強くなっていきます。とくに暮らしの個性化が進み、心のゆたかさが求められているいま、ひとりひとりの気持ちに、松下電器は、

家電製品から音響・映像・半導体・情報通信まで幅広い製品群を通じて、しっかり応えていきたいと考えています。たとえば、新しい炊飯方式「電磁加熱」を採用して日本一おいしいご飯に挑戦する「IHジャー炊飯器」。また、日本語で話せば誰の声でもすぐ自然な英語に変えて話してくれる「日英音声通訳装置」。もっと心地よく、愉快地に、刺激的に——新しい時代の夢を、先端技術が次々と実らせているんです。人からはじまるエレクトロニクス。これまでも。そして、これからも。